

ストップ温暖化 年末エコチャンネル

紅家庭 白事業所 エコ合戦 冬も節電を

今年の夏は、多くの皆さんに節電にご協力いただき、ありがとうございました。エアコン等暖房機器の使用が増えるこれからの季節は、夏期ほど電力供給は深刻にならないと予想されていますが、引き続き、節電に向けた取り組みが必要です。

今回は、家庭・事業所・区等が取り組んだ今夏の節電結果と、冬期の節電方法を紹介します。節電はCO2(二酸化炭素)排出量の削減にもつながります。地球温暖化対策のためにも、身近にできる取り組みを実践しましょう。

【問合せ】環境対策課エコライフ推進係(本庁舎7階) ☎(5273)4267・☎(5273)4070へ。

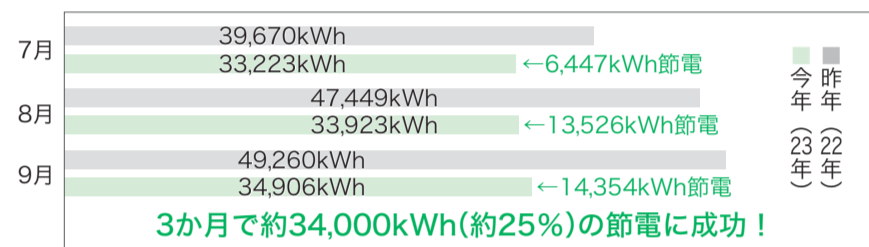
家庭編

夏の節電結果 ★★★★★★★★★★★★★★★★★★

環境学習情報センターでは、新宿エコ隊員やエコイベントの参加者等に、昨年と今年の7月～9月の電気使用量、節電のためにしたことを調査しました。

電気使用量 (回答者数：97名)

今年の7月～9月の電気使用量(回答者97名の合計)は、昨年と比べて、約25%の節電効果があったことが分かりました(下グラフ)。



節電のためにしたこと (回答者数：101名・複数回答)

節電の取り組み方法で多かったものを紹介します。

- 使わない電化製品はプラグを抜いた
- エアコンの設定温度を調整した
- 冷蔵庫の温度を調整し、食品を詰め込み過ぎないようにした



冬の節電メニュー ★★★★★★★★★★★★★★★★★★

- ▶ エアコンの使用は極力控え、暖房温度は20℃を目安に
- ▶ 電気カーペットや床暖房の温度は低めに設定
- ▶ 温水洗浄便座はふたを閉め、外出するときは電源を切る
- ▶ カーテン・ブラインドを利用して冷気の進入をカット
- ▶ 湯たんぽ・ひざかけなどを活用

家庭での節電対策にご活用ください

2012年版エコ・チェックダイアリー 12月7日(水)から配布

家庭から出るCO2の量を、毎月の電気・ガス等の使用量から計算できるなど、省エネ情報満載のカレンダーです。

【配布場所】環境対策課・環境学習情報センター(西新宿2-11-4)・西早稲田リサイクル活動センター(西早稲田3-19-5)・特別出張所・区立図書館

事業所編

夏の節電結果 ★★★★★★★★★★★★★★★★★★

輪番休業や夜間電力の有効活用等により、多くの事業所に一定の期間で使用した電力の最大値を示す「最大電力」の削減にご協力いただきました。

電気基本料金の算定基準にもなる「契約電力」は、過去1年間の各月の最大電力のうち最も大きい値で決まります。「最大電力の削減で基本料金が下がり、経費の節減につながった」という声も聞かれました。

新宿区の取り組み

区有施設全体で15%以上の節電を目標とし、特に電力使用の大きい施設ではより高い目標を設定し、節電に取り組みました。▶照明の間引き、▶空調の28度設定、▶クールビズの徹底等により、昨年同月の最大電力と比較し、7月は区有施設全体で22%の節電効果がありました。特に、区役所本庁舎・第1分庁舎・第2分庁舎では、合わせて33.7%削減し、大きな節電効果を上げました。

冬の節電メニュー ★★★★★★★★★★★★★★★★★★

- ▶ウォームビズを実施し、暖房温度は20℃以下に設定
- ▶換気装置は全熱交換器を導入・使用し、暖気を逃さない
- ▶朝は暖房を時間差で順次稼働し、最大電力を下げる
- ▶窓ガラスに断熱シートを張るなど、冷気の進入をカット



中小事業所の方向け事業 節電対策にご活用ください

省エネ電話相談 ☎(3452) 0165

事業所の省エネ対策や支援制度を紹介します(区が業務を委託した日本データサービス(株)が対応)。

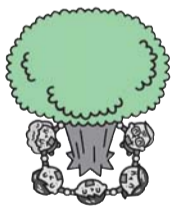
【受付日時】1月31日(火)まで、午前9時～午後6時(土・日曜日、祝日、12月29日(木)～1月3日(火)を除く)

省エネルギー支援制度セミナー 1月17日(火)午後2時～5時

国・都・区が実施する補助金や融資などを活用し、省エネに取り組む方法を学びます。個別相談も受け付けます。

【会場】区役所本庁舎5階大会議室

【申込み】電話かファックス(セミナー名、事業所の名称・所在地・電話番号・担当者名、参加人数を記入)で環境対策課エコライフ推進係へ。先着50名。



ゆくエコ くるエコ 「新宿の森」の1年

区では、長野県伊那市、群馬県沼田市、あきる野市に「新宿の森」を開設し、森林保全による地球温暖化対策に取り組んでいます。新宿の森の活動を紹介します。

【問合せ】環境対策課環境計画係(本庁舎7階) ☎(5273)3763・☎(5273)4070へ。

ゆくエコ 今年の活動

★新宿の森・伊那 平成21年5月開設 ★★★★★★

- 5月～9月/区立小学校の皆さんが移動教室で訪れ、間伐等を体験しました。
- 12月/「都市と農山村交流エコツアー」を開催し、参加者が間伐等を体験しました。

※区では25年度までに、伊那市の市有林約150ヘクタールを整備する計画です。5年間で1,200トンのCO2を削減できると試算しています。

★新宿の森・沼田 平成22年5月開設 ★★★★★★

- 5月/新宿エコ隊員・区内の小学生・沼田市民等が2,500本のコナラを植樹しました。

★新宿の森・あきる野 平成23年10月開設 ★★★★★

- 10月/区の水源地である多摩川上流域のあきる野市に、新たに開設しました。開設記念イベントでは、新宿区民・あきる野市民約80名がケヤキ・エノキなど1,000本を植樹しました。



▲下草刈り(新宿の森・沼田で)

ケヤキなどの植樹(新宿の森・あきる野で)▼



くるエコ 来年の活動

3か所の「新宿の森」で、引き続き、下草刈り等の森林整備を行うほか、環境学習・地域交流の場として活用していきます。新宿の森・沼田では、新宿エコ隊員に植樹に参加していただく予定です。

冬期も節電にご協力を

事業所の活動開始で用量が増える午前9時と、夕方の気温低下による空調使用、家庭での夕食の準備等で用量が増える午後4時～8時が電力使用のピークといわれています。一人一人の小さな取り組みが大きな節電効果につながります。ご協力をお願いします。

環境を守る取り組みを募集

新宿エコワン・グランプリ

応募は12月15日まで

区民や事業者の皆さんから、環境活動の取り組みや実践的なアイデアを募集しています。優れた取り組みを表彰します。

【部門】▶個人・ファミリー部門、▶グループ部門、▶事業者部門

【申込み】所定の応募用紙等を、12月15日(消印有効)までに環境学習情報センター(〒160-0023 西新宿2-11-4) ☎(3348)6277へ。応募用紙は同センターで配布しているほか、ホームページ(<http://www.shinjuku-ecocenter.jp>)からも取り出せます。